

世界自然遺産登録5周年
国立公園指定10周年記念

奄美・沖縄
子ども交流事業

子ども新聞

学び、深めた郷土愛

特別号



ピナイサーラの滝
ツアー



野生生物保護センターでの
環境学習



祖納集落 豊年祭へ参加



西表島小中学生との交流会



ナイトツアーで
夜の生き物観察



水牛車に乗り由布島へ

令和8年7月28日から31日までの4日間、奄美群島の中中学生12名が西表島を訪れ、交流事業を実施しました。野生生物保護センターでの環境学習をはじめ、ピナイサーラの滝ツアーやナイトツアーなど、豊かな自然を体感するさまざまなエコツアーを体験。また、西表島の小中学生との交流会では、一緒に活動しながら交流を深めました。

奄美群島の中中学生は、研修前に自分が住んでいる島と西表島の違いについて事前に学び、研修に臨みました。実際に西表島を訪れると、自然や文化の中に「違い」だけでなく、島同士の「共通点」もたくさん見つかりました。見て、聞いて、触れて、話して——。4日間の体験を通して、子どもたちは西表島の魅力を発見するとともに、自分たちが暮らす島の魅力も改めて見つめ直しました。

「西表島研修を終えて」

瀬戸内町立油井中学校
1年 近藤 亮汰

① 心に残ったこと

僕が、この研修に参加して心に残ったことは野生生物保護センターでの、環境学習です。ここでは、西表島の小中学生と一緒に西表島の自然の勉強をしました。ここで、西表島ではロードキルがここ一年間一度も起きていないことを知りびっくりしました。なぜなら奄美大島では年々ロードキルが増えているからです。西表島ではロードキルを無くすためにどのような取り組みがされているかが、とても興味深かったです。

② 学んだこと・気づいたこと

この研修のナイトツアーで学んだこと、気づいたことは、西表島にはたくさんの固有種が生息していることです。ナイトツアーでは西表島にしか生息していない生き物にたくさん会うことができました。特に、イリオモテヤマネコに会えたことがとても嬉しかったです。また、西表島の豊年祭では、自分の住んでいる島の集落の豊年祭との違いを感じることができて、とても面白かったです。

③ 自分の成長につながったこと

この研修を通して自分の成長に繋がったことは、この研修に来ていた仲間と協力することです。実際に会うのは研修が初めてだったけど、色々な場面でみんなと協力して行動しました。豊年祭の最後の綱引きでは、みんなで協力して力を合わせるということを改めて学ぶことができました。

④ これから、自分にできること

これから自分にできることは西表島で行われていたロードキルを減らすための工夫を奄美群島にも伝え、みんなでその方法を試し、実践していくことです。奄美大島に生息するたくさんの生き物を守るために、西表島で学んだことを奄美大島の人たちに伝えていくことが大切だと思いました。

